

令和6年3月11日(月)

### 3月11日は東日本大震災発生の日です

今から13年前の3月11日14時46分に東日本大震災が発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0で、日本における観測史上最大の地震で、「千年に一度」と言われる程の大きな地震でした。地震発生から30分程経った際には東北地方と関東地方の太平洋沿岸部などに巨大な津波が押し寄せ、甚大な被害を与えました。

今年1月1日午後4時6分頃、石川県能登地方を震源とする地震があり、能登地方で震度7を観測する地震が連続して発生し、多くの財産や人命が失われました。

そう遠くない将来、南海トラフ地震という大きな地震が起きることが予想されています。私たちが住む鹿児島市は南海トラフ地震による被害だけでなく、桜島噴火に伴う大規模な降灰と津波による被害も発生する恐れがあります。

地震は、いつ、どこで、どのように発生するのか予測することは困難です。地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、日頃からの備えにより地震の被害をできる限り小さくすること、つまり、「減災」はできるはずです。

本日、鹿児島市の防災放送やテレビ番組やインターネットなどで、東日本大震災にちなんで、地震や津波等が発生した際の避難方法について紹介されることと思います。皆さんは中学生ですので、地域から保護される立場だけではなく、地域を支え助ける役割を果たすことが期待されています。ですから、自分たちよりも幼い幼稚園・保育園児や小学生を誘導して避難したり、高齢者の方々に何かできることはないだろうかと考えたりすることも大切なことです。

学校にいるときに地震が発生するとは限りません。休日や深夜、あるいは自分一人で家にいるときに地震に遭遇する可能性の方が高いです。学校以外の場所で地震が発生したら、自らの命を守ることを優先させながらも、どのような行動をとればいいのか自分で判断できるようにしましょう。

学校や自宅などで地震に遭遇したときに気をつけることは何か、災害に備えてできることは何か、災害時に地域を支えるためにできることは何かを、今日という日を受け止め、皆さん一人一人がよく考えてください。